

關於本展 本展について



日本，是台灣人出國最愛的旅遊目的地；台灣，更是近年日本人氣旅遊國家排行榜中的熱門選項。話說，往返日本與台灣之間的觀光旅遊，起始於何時呢？可追溯至百年前的日治中期，隨著台灣政治穩定，加上定期海運航班及綿密鐵道網所構成的交通建設，形成具現代性的觀光空間。島嶼旅行不再是危機四伏的探險，逐漸成為大眾休閒生活之一。

本展將透過遊記、地圖、繪葉書、老照片、影像紀錄等文物史料，帶領民衆穿越時光長廊，伴隨日本旅人的南國旅程，看見殖民政府刻意形塑之台灣意象，並感受百年前他們眼中的高雄城市面貌。另一方面，追尋高雄旅人的腳步，進行一場感召帝國文明之旅的同時，一窺百年前日本著名景點，對照今日是否依舊。

日本は、台湾で最も人気のある海外旅行先です。台湾もまた、近年日本で人気ランキングの上位をしめています。日本と台湾を行き来する観光旅行は、100年前の日本統治時期中頃まで遡ることができます。台湾の統治が安定し、定期航路や鉄道網が整備され、近代的な観光旅行が可能になりました。未知の危険と隣り合わせの冒険旅行が、徐々に普通のレジャーになりました。

本展では、旅行記、地図、絵葉書、写真、映像記録などの史料を通して、長い時を超えた旅にお招きします。当時の日本人といっしょに南国を旅行をしながら、植民地政府が作り上げた台湾のイメージや、100年前の人が見た高雄の姿を感じてください。また、高雄から来た旅人といっしょに「大日本帝国の文明を見る旅」に出て、100年前の日本の著名な景勝地を今と比べてみてください。



往返 島嶼

1930年代台日旅情特展
台日往来 1930年代旅の風景特別展

2021.09.10 - 2021.11.7
高雄市立歷史博物館 203 多功能室

開放時間 週二至週日09:00至17:00（週一休館）
Open Hours Tue. through Sun. 9am - 5pm (Closed Mondays)

團體預約導覽 請於參觀前兩週於本館網站預約或
撥電話(07)531-2560分機106

Group Tour and English Tour Service
Please contact two weeks in advance.
Inquiry Ph.+886(7)5312560 ext106



Q | 高雄市立歷史博物館

高雄市立歷史博物館

80347高雄市鹽埕區中正四路272號
No. 272, Zhongzheng 4th Rd., Yancheng District,
Kaohsiung City 80347, Taiwan
TEL (07)5312560 FAX (07)5315861 <http://khm.org.tw/>

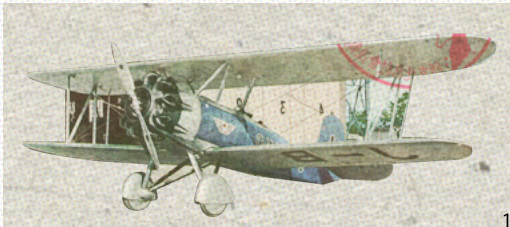
指導單位 |  高雄市政府  高雄市政府文化局

主辦單位 |  高雄市立歷史博物館
KAOHSIUNG MUSEUM OF HISTORY

協辦單位 | 日本台灣交流協會高雄事務所、台灣50美術館、高雄市苓洲國小、
陳啟川先生文教基金會、國立公共資訊圖書館、國立臺灣歷史博物館、
國家圖書館、國家電影及視聽文化中心、國際日本文化研究中心

特別感謝 | 臼井進(CMC IP FIRM)、孫曉鐘、孫仲慧（依筆劃排序）

往返島嶼



大日本航空株式會社飛機（國立臺灣歷史博物館提供）



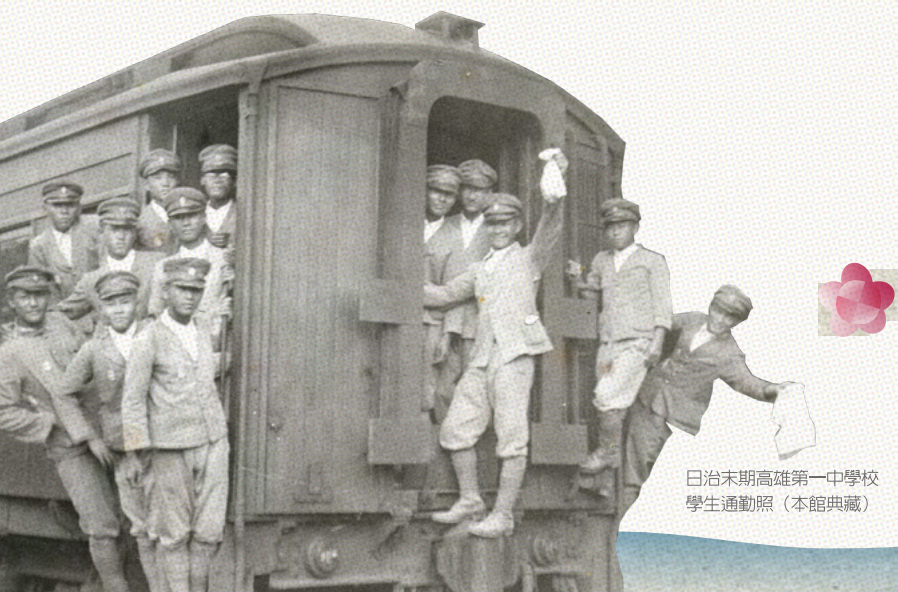
基隆神戶線高砂丸（本館典藏）

旅行成為一種可能

旅行が可能に

旅行成為一種可能，首要關鍵就在交通。1908年縱貫線通車後，「南北一日交通圈」立即形成。鐵道、公路、汽船、飛機等近代交通工具陸續加入，使得台灣各地往來更加便捷。進入1930年代，綿密的交通網絡，加上觀光設施的整備、旅遊指南的發行等措施，讓旅行更加大眾化，同時達成殖民政府的目的，藉由旅遊讓人們看見殖民統治的進步。

旅行の力ギは、交通事情です。1908年に縦貫鐵道が開通し、台北と高雄が「一日交通圈」に入りました。鐵道、道路、海路、空路などの近代的な交通機關が次々と導入され、台灣各地の往來がより早く容易になりました。1930年代になると、交通網が台灣全土にくまなく広がり、さらに世界との距離も縮まりました。また、觀光施設の整備や旅行案内の発行なども行われ、旅行はますます大眾化しました。同時に、旅行を通して植民地統治の進展を見せるといふ植民地政府の目的も達成しました。



日治末期高雄第一中學校學生通勤照（本館典藏）

觀光成為一股風潮

觀光がブームに

1920年代之後，台灣島內外的綿密交通網絡，大大提升觀光旅遊活動的安全性及便利性。在此基礎上，1923年裕仁皇太子的訪台，加上1927年的「台灣八景」票選活動，發揮宣傳各地風景名勝的效果，刺激了觀光事業的發展。日治台灣的觀光熱潮，於1935年「始政四十周年紀念台灣博覽會」達到高峰，吸引數百萬人前往參觀，成為當代國民旅遊重要集體記憶。

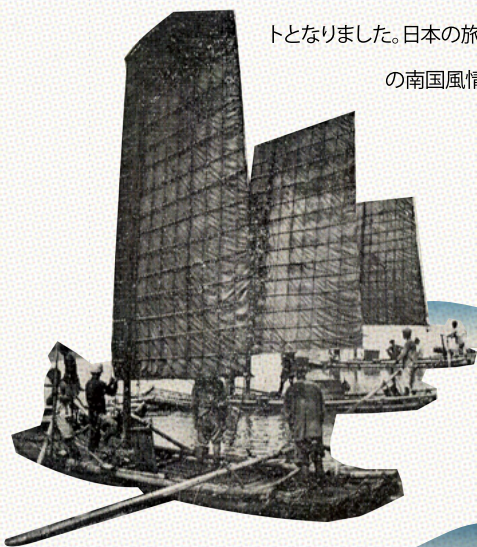
1920年代以降、台灣の内外に広がる緻密な交通網が、觀光旅行の安全性と利便性を向上させました。1923年に裕仁皇太子が台灣を訪問し、さらに1927年には「台灣八景」の公募も行われました。これは各地の景勝地の宣伝に非常に効果的で、觀光業の発展に寄与しました。日本統治時期の觀光ブームは、1935年の「始政40周年紀念台灣博覽會」で最高潮に達しました。延べ100万人以上が參觀し、當時の人々の国民的思い出になりました。

來台灣－日本人眼中的高雄風光

台灣へ 日本の旅人が見た高雄風景

1920年代，日本人的海外旅遊隨著全球航運的發展逐漸大眾化，殖民地台灣成為日本人海外旅遊的熱門選項之一。同一時期的高雄州，行政範圍主要涵蓋今日的高雄市及屏東縣。台灣八景當中，便有兩景（壽山、鵝鑾鼻）位於高雄州轄內。在大眾媒體的宣傳下，這些地方成為日本旅人的必遊景點。從日本旅人留下的文字紀錄及畫作，讓今日的我們得以一窺百年前的南國風光。

日本人の海外旅行は、世界的な國際航路の発展に伴い、1920年代以降徐々に大眾化し、殖民地台灣も人気の海外旅行先になりました。當時の高雄州の行政範圍は、主に現在の高雄市と屏東県でした。台灣八景に選ばれた寿山と鵝鑾鼻の灯台の2つが高雄にあり、州政府の積極的な宣伝もあって、日本人が必ず訪れる人気スポットとなりました。日本の旅人が残した記録やスケッチから、100年前の南国風情をかいま見ることができます。



1929年，高雄港內的竹筏景象（國立公共資訊圖書館提供）

去日本－高雄旅人眼中的東洋魅力

日本へ 高雄の旅人が見た東洋

接受日本統治數十年的台灣人，對於日本移植來台的近代文明並不陌生，並透過教科書的描繪，獲得日本國內資訊。但百聞不如一見，前往日本的高雄人亦不在少數。從小學生到富家子弟，朝著「文明」頂點的日本進行巡禮，吸收帝國文化。從名勝古蹟到伊勢神宮、皇居等充滿「神國思想」之地，成為那一代人的青春記憶，也讓今日的我們得以穿越時空，一窺百年前日本樣貌。

日本の統治を数十年経験した台灣人にとって、近代文明はもう珍しくありません。また、教科書などで日本国内の事も知っていました。百聞は一見に如かず、日本に行く高雄の人も少なくありませんでした。小学生から豊かな家庭の留学生まで、「文明」の頂点たる日本を巡礼し、大日本帝国の文化を吸収しました。東照宮、大阪城、鎌倉などの名所旧跡や、伊勢神宮、皇居などの「神国思想」の聖地に赴いたことは、この世代の人の青春の思い出です。そのおかげで今の私たちも100年前の日本の姿を知ることができます。



始政四十周年紀念台灣博覽會明信片（本館典藏）



1939年，高雄州高雄市公學校聯合內地修學旅行，於明治神宮前留影。（孫仲慧提供）